

墨田区議会だより

第 29 号

発行 昭和57年1月1日
 発行所 墨田区議会事務局
 〒130 墨田区横網一の6-1
 電話 626-3151(大代表)

第四回定例会

防災拠点内医療センター建設促進を

意見書を全会一致で採択

昭和五十六年第四回定例会を去る十一月十七日から三十日までの十四日間にわたって開きました。今定例会では、五人の議員から一般質問があり、昭和五十五年度の「各会計決算」を認定したほか、「墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」など十一件の議案を可決し、五件の請願・陳情について結論を出し、意見書一件を議決しました。

初日の十七日は、去る十月一日付で就任した中野ツヤ教育委員からあいさつがあり、続いて自民党、公明党、共産党各一名の議員が一般質問を行いました。また、二日目の十九日にも、新自由クラブ、自民党から各一名の議員が一般質問を行い(二

面参照)その後、第三回定例会で委員会に審査を付託していた昭和五十五年度墨田区一般会計と国民健康保険特別会計の歳入歳出決算を委員会審査報告どおり起立多数で認定しました。続いて区長から提案された二億四千九十五万七千円にのぼる補正

区民の皆さん、あけましておめでとうございます。昨年の墨田区は、引き続き経済の低迷と厳しい財政事情の中で、隅田川の夢のかけ橋や錦糸町駅南口産業会館等の建設に着手したほか、防災対策、中小企業の振興、福祉の充実など、区政全般にわたって着実に進展させました。



墨田区議会議長
瀧澤 良 仁

しかし、人情豊かな墨田区の特徴を生かした個性ある町づくりを進め、区民生活の向上と住みよい環境を実現させるためには、まだまだ数多くの課題が残されています。区議会は、今年も区発展のため、より一層の努力を重ねますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

北十間川魚釣り場設置等採択

請願・陳情の審査結果

今定例会では、区民の皆さんから出された十七件の請願・陳情を各委員会で審査しました。その結果、五件について次のように結論を出し、十件は、継続審査に、二件は、保留などとなりました。

◎採択としたもの

◇ 北十間川自然魚釣り場設置に関する請願
 (北十間川の釣り場と安全の両立を)

◇ 偶田公園内環境安全対策の充実に関する請願
 (公園内に監視員の常駐と、警察官パトロールの強化を)
 (意見)趣旨にそうよう努力されたい。

◇ 公共下水道の排水能力改善に関する請願
 (大雨による被害をなくすため下水道の排水能力向上を)
 (意見)趣旨にそうよう関係機関に働きかけられたい。

◇ 立花団地住環境整備の改善に関する陳情
 (子供、住民が安心できるよう設備の改善を)
 (意見)居住者が自ら解決すべき問題であるが、側面から適宜な方法で関係機関に働きかけられたい。

◎不採択としたもの

◇ 制度融資改善に関する請願
 (中小企業者の実情に合った制度融資額の引上げ等を)
 (理由)現段階においては、趣旨にそうことは困難である

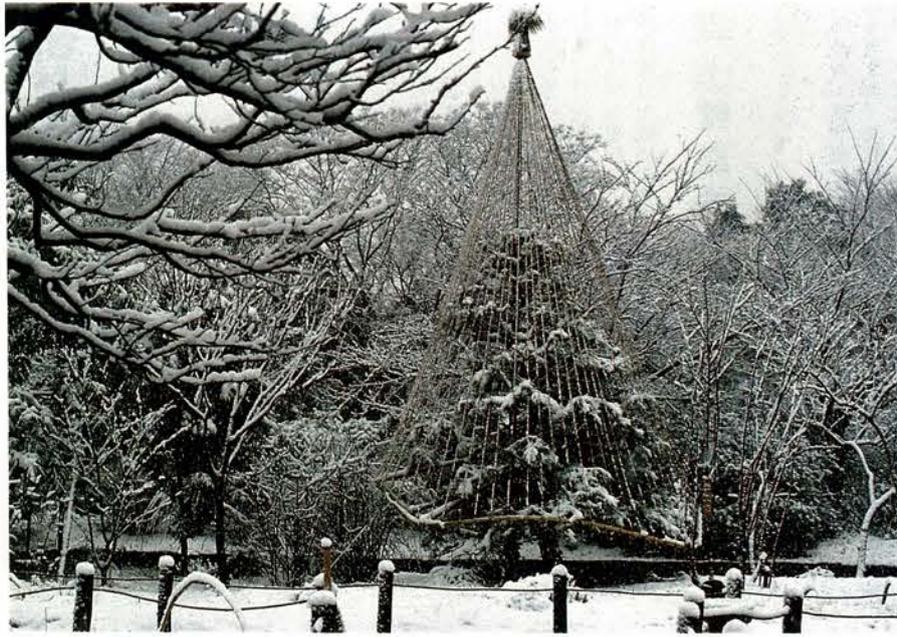
不安を抱かれています。東京都におかれて、このセンターをリハビリ専門病院として早急に具体化されるよう強く要望するものであります。

東京都知事あて

議決した意見書(要旨)

白鬚東地区防災拠点内医療センター建設促進に関する意見書

白鬚東地区防災拠点には、大震災時における救助、復旧活動の拠点としての役割を果たす施設の一つとして医療センターが計画されています。しかし、まだその構想すら発表されておらず、住民に多大の



雪吊の繩棒のごとて空に冬の風物詩として欠かせない「雪つり」(向島百花園)



副議長
議長

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|----|
| 森下 | 甚野 | 青山 | 吉田 | 島村 | 山崎 | 桑名 | 柴田 | 沖山 | 樋口 | 矢口 | 並木 | 槐木 | 湯本 | 原正 | 柴田 | 瀧澤 | 田中 | 小早川 | 武内 | 石橋 | 蘭田 | 村瀬 | 大和 | 原田 | 早川 | 初沢 | 青木 | 小池 | 渡辺 | 西山 | 牛山 | 佐藤 | 中村 | 加藤 | 足達 | 加藤 | 西藤 | 松野 |
| 三 | 政 | 武 | 福 | 梅 | 来 | 丈 | 甲 | 保 | 令 | 正 | 昌 | 良 | 左 | 惠 | 啓 | 正 | 隆 | 政 | 常 | 幸 | 裕 | 英 | 良 | 静 | 良 | 恭 | れ | 四 | 光 | 信 | 寿 | 耕 | 文 | 弘 | 隆 | 子 | | |
| 七 | 雄 | 三 | 藏 | 佐 | 治 | 満 | 子 | 雄 | 二 | 義 | 男 | 仁 | 内 | 子 | 次 | 夫 | 明 | 幸 | 雄 | 一 | 夫 | 平 | 雄 | 三 | 三 | 子 | 郎 | 郎 | 雄 | 雄 | 一 | 一 | 造 | 隆 | 子 | | | |
| 人 | 緑 | 郎 | 藏 | 久 | 治 | 満 | 夫 | 雄 | 二 | 義 | 男 | 仁 | 内 | 子 | 次 | 夫 | 明 | 幸 | 雄 | 一 | 夫 | 平 | 雄 | 三 | 三 | 子 | 郎 | 郎 | 雄 | 雄 | 一 | 一 | 造 | 隆 | 子 | | | |
| (公明) | (公明) | (自民) | (自民) | (自民) | (自民) | (自民) | (公明) | (公明) | (公明) | (自民) | (自民) | (自民) | (自民) | (自民) | (共産) | (共産) | (公明) | (区) | (区) | (民社) | (自民) | (自民) | (自民) | (共産) | (共産) | (共産) | (共産) | (自民) | | |

(議席番号順)

一般質問

墨東副都心化の推進へ

錦糸町基本構想をタタキ台に 答弁 区長

行革の錦糸町北側開発への影響は

自由民主党

問 基本構想策定後、第二臨調など、政治経済情勢に変化が起きている。錦糸町北側開発に対する影響をどう考えているか

答 高齡者対策、老人福祉対策に必要な財源の確保など、今後の区政運営の基本的な考え方を伺いたい。

問 高齡化社会に対しては、区内の中小企業の繁栄策を実施して、企業に活力を持たせ、高齡者の働く場所を確保し、合わせて区の財政力を強めることが根

郷土館建設で観光の推進を

公明党

問 国鉄両国駅北側に国技館の建設もさまり、文化の施設が増える。この周辺は、その他にも名所旧跡が数多くある。もし、日大講堂跡に「江戸・東京博物館」が誘致できなかった時は、この場所に「郷土館又はふるさと会館」を建設し、これを中心として、観光面も含めた町の再開発を考えるべきではないか

答 区は、日大講堂跡に「江戸・東京博物館」を誘致する大願望を持って運動しているが、まだ実現するという確信は持っていないので、今後も精力的に運動したい。どこに「ふるさと会館」「江戸・東京博物館」ができて、墨田区独自の観光ルートを考えることは重要なことなので、

問 区内人口の高齡化が早い速度で進んでいるが、このことは区の財政基盤を弱体化させる一方で、福祉的経費が増大する心配がある。

特別区自治権・財政権拡充大会開く

去る十月二十三日に、特別区自治権・財政権拡充大会が、九段会館で開かれました。そこで

財政権を「市」並みに、地方財政を圧迫しない行革をなどと訴え、又、墨田区民の方が、防災対策充実のために財源を有意見発表しました。そして、「行財政制度の改革を強く訴え、特別区の住民・団体自治の確立を期す。」との大会宣言を決め、国・都へ請願等を行いました。



問 長びく不況に加えて、相対公共料金の値上げは、区民の暮らしを苦しめ、特に生活保護世帯や、年金生活者にとっては一層厳しいものになっていて、年金生活者の年末や不時の出費に対し、簡便で低利な融資事業を創設する考えはないか

答 この融資をもし行ったとしても、生活補給的なものとなって、返済がむずかしくなり、かえって窮地に陥し入れることになるのではないかと、年金事業団による融資の道もあり、区が創設することには消極的な考えだ

年金生活者に新たな融資制度を

日本共産党

問 区は「区のお知らせ」で予算や決算を発表しているが、あの程度のものでは理解し難い。大阪府羽曳野市では、財政白書を作って市民に公表し、財政の健全化、民主化に貢献した。区もわかりやすい財政白書をつく

問 区は「区のお知らせ」で予算や決算を発表しているが、あの程度のものでは理解し難い。大阪府羽曳野市では、財政白書を作って市民に公表し、財政の健全化、民主化に貢献した。区もわかりやすい財政白書をつく

隅田川のほとり

竹屋の渡し

今でこそ、区内の隅田川には七つの橋がかかっています。江戸時代には兩國橋と吾妻橋しかありませんでした。川を渡って行き来する人々にとって、あちこちにあった渡し船が大事な足だったわけ

問 来年度予算は、国が進めている行政改革の影響も予想されているが、区民の要望と期待に応えた内容のものにすべきだ。予算編成にあたって、区長の基本的な考え方を伺いたい。

答 経済情勢、区の置かれている背景、第二臨調等を考慮して区の基本構想の実現、基本計画中期計画を前進させる財源配分内部効率向上等の努力を重ね、税負担の公平、受益者負担等も考慮した予算編成をしたい。

水害防止にもっと努力を

新自由クラブ

問 去る十月二十四日の台風二十四号で区内に浸水の被害が発生した。区は水防本部を設置し徹夜で情報収集にあたったと聞くが、これを生かして、危険地区への事前通報や職員の派遣をすべきだ。

答 高潮や洪水と違い、豪雨の場合は事前の通報がむずかしい職員は汚水ますや街路樹の手当をしたが、基本的な下水道能力の拡大に今後も努力したい。

問 去る十月二十四日の台風二十四号で区内に浸水の被害が発生した。区は水防本部を設置し徹夜で情報収集にあたったと聞くが、これを生かして、危険地区への事前通報や職員の派遣をすべきだ。

答 高潮や洪水と違い、豪雨の場合は事前の通報がむずかしい職員は汚水ますや街路樹の手当をしたが、基本的な下水道能力の拡大に今後も努力したい。

区議会議員の報酬など改定

今定例会の最終日の本会議で

区議会議員の報酬や区長など特別職の給料の額を改定する条例を賛成多数により可決しました

これは、区民の代表の方で構成されている特別職報酬審議会(区長の附属機関)が、十月三十日に出した答申に基づき改定



江戸時代の墨堤をしのぼせる錦絵、東京名所四十八景から

上「都鳥」というお茶屋が、墨堤から浅草側に渡りたい客が、都鳥のおかみさんが対岸に向って「タケヤ」と呼んで船をたのむ、その美声が江戸庶民の評判となり、以来竹屋の渡しといわれるようになったということ

問 ひとつとわたりやすく公表したい。担当部門で検討中だが、近く実施するので了承願いたい。

問 競争入札制度を公正に 不当な事件が報道されている。当区でも指名競争入札を一般競争入札に変える考えはないか。

答 一般競争入札は、公開制によって公正性と経済性を確保できる長所もあるが、低価格第一主義から不信用、不誠実なものとの契約する恐れもある。第二臨調等の議論の動向も見たい

決算特別委員会開く

五十五年度決算を慎重に審査

昭和五十五年度墨田区一般会計と国民健康保険特別会計の歳入歳出決算は、九月の定例会で区長から報告され、決算特別委員会に付託していただきました。そして、これを審査するため、同委員会を去る十月二十六日から二十九日までの四日間開きました。

委員会では、理事者から各会計全般について説明を受け、予算が実際にどのように使われたか、又、その事業の効果はどうであったか、さらに事業執行に伴う問題点など、各費目にかわり連日熱のこもった質疑がかわされました。両会計の審査終了後、各会派から、この決算報告に対し、賛成又は反対する立場で討論を行って採決に入りました。その結果、両会計決算報告を賛成多数によって報告のお

あけまして、おめでとう

大きく変わってきています。基本構想の策定、隅田公園歩行者専用橋の建設着手、錦糸堀車庫跡地の再開発など着実に変化しています。見違えるような墨田区が現れるのも遠くありません。今年も輝やかしい年になるようがんばります。

区議会事務局 調査係 ☎66-131-51内線247